



# お客様の夢を喜望へ、 喜望を製品へ、そして進化へ

あいさつ  
会社の歳時記  
技術の時間  
ちょっとコーヒータイム

Vol.8

(有)今泉大伸 

〒441-3131

愛知県豊橋市大岩町字小山塚6-2-28

:0532-41-8282

FAX:0532-41-8297

E-mail info@imaizumidaishin.co.jp

<http://www.imaizumidaishin.co.jp>

## あいさつ

4月になりまして、花粉が辺りをチラチラ舞うようになりました。みなさん、お体はどうか？

今年は例年になく花粉の舞い方が多いようで、私どもも花粉で目はショボショボ、鼻はジュルジュル...

しかし春の足音は、日増しに近付いているのを感じます。

当社も今は、バタバタ忙しくさせて頂いております。

しかし、日本経済の中央を見ると楽観できないと思っております。

常に新しい分野へ、常に新しいことへのチャレンジ。そのようなことを考え、ガンバッテおります。

皆様はどうか？なにかチャレンジされていますか？

もう少しで春です。新しいことにワクワクする季節でもあります。

そんなことで、今月号もよろしくお願ひします。

このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。



## 会社の歳時記

当社は浜名湖にも近く、最近珍しいお客様よりお電話がありました。

大型クレーザーのフレームを動かす装置を作ってほしいとの事でした。

構式といたしましては DC24V使用、シリンダー2本の昇降装置で制御回路は当社で作りました。

装置は下の写真になります。

クレーザーの運転台の見栄えを考えないといけないので、クレーザーに付いている補助ボタンを使用して制御回路を組みましたが、ポンプでの使用は車用であるために、少し工夫が凝らされています。

油圧の分野での新しい方向でしたので面白かったです。

当社は、特に産業用を主体として行って来ていたのですが、レジャー用・民生用として技術が生かせることができるという所に、とても希望が持てます。

またシリンダーもオールステンレス化をしてあり、シールに関しましても工夫されております。



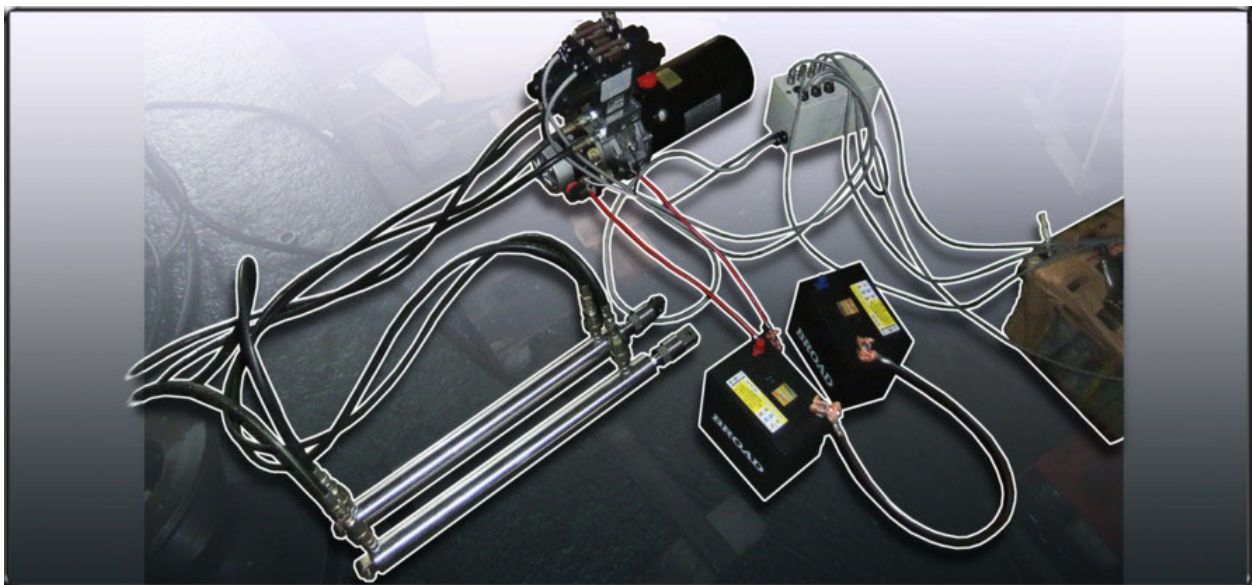
もしお客様の中で、「こんなを作りたいんだけど」と思われる方がいらっしゃいましたら、当社のほうへお気軽にお声をかけて下さい。

というわけで、今回はクレーザー用油圧システムについてお話しいたしました。

予告ですが、次の号ではターミネーター（アーノルド・シュワルツェネッガー主演）の間接動作用・油圧シリンダーのお話しをしたいと思います。

京都の某有名大学とのタイアップで行う事になりました。

最近、それも納入しましたのでお話ししたいと思っております。



震災に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今回「失敗の中にこそ成長がある・二回目」は、『初動』について書きたいと思えます。

福島原発の件、沈静化にガンバッテおられる方々は、本当にご苦労様といたいたいです。

さて今回、私自身は大きな教訓を得ました。

『初動』の大切さです。先日、某開先加工機の回路を変更してほしいと依頼があり、回路の変更をすることになりました。

当社としましては多少、作業者の不便にかけるが、踏み合をして、回路に問題のない方法を提示しました。なぜか？下の方にバルブがあったので、油に空気が入るのを防ぐために、できるだけ高い位置へ変更したかったのです。

しかし担当者としては、狭いところを通すようにとの指示でした。

『初動でチョット心配』。さて配管を終えて起動した所、動作はOKですが開先に食い違いが...

『初動』での不安が的中。その後原因を調べてみると、刃物をぶつけたそうなんです。

よくある事なのですが、担当者にその不安を説明しても解ってくれないこともあるのです。

ただ、どうしてもその通りに行うと『やっぱり』と思うことがよくあります。

ある登山家の方が言っていました。『最悪のことを想定して準備し』『最善に向けて努力する』。ということは、つまり『初動』=『最悪のことを想定して準備する』。

それがとても大切だということを、いつも工事を始める前に思っています。

数々のシミュレーションを頭の中で行い、それでも工事前は不安ですが、事前の準備をいつも望んでいます。

また、明治の中ごろ「八甲田山雪中行軍の遭難」でも、初動での対応のまずさ、状況を軽んじる態度、それが最後に天から見放される事になるのです。

だから、申し訳ございませんが私たちはお客様にできない事はできない、できる事はできるというのです。

『初動』におけるかけ違いは後々まで尾を引きます。

そんなことで私も気持ちを引き締めたいと思っております。



## ちょっと コーヒータイム



震災にあわれた企業様、及び個人の方々が早く復興されることをお祈りするとともに、亡くなられた方に対しましてはご冥福を申し上げます。

当社に対しましては一生懸命仕事をさせていただくことこそが、社会貢献と考えております。そして、その利益の一部でも震災に遭われた方への原質となるよう、側面からのサポートを考えていくつもりでおります。

本日のコーヒータイムは、地震について書きたいと思います。

当社は浜岡原発より60kmに位置し、将来想定されるであろう東海地震の中にあります。ただ、海拔は20mと海岸線より高くなっており、津波の心配はございません。

今回のことで、TBSドラマ『日本沈没』を思い出したのは私だけでしょうか。

また、『太陽の黙示録』（かわぐちかいじ著）も思い出しました。

私たちはあのドラマの中で、中央構造線（糸魚川静岡構造線）が東西に分断されるであろう様子を見て、怖さを覚えました。

当社の近辺でも、多く断層が発見されておりますし、昭和20年、終戦の半年前に三河地震が発生し、多くの方が亡くなりました。

しかしその時、感心したことがありました。

当時戦っていたアメリカの大統領より、東海地震への弔電が日本政府に来たそうです。

しかし当時、東海地震で多くの方を心配するという心の広さは感じつつも、なぜ多くの人を殺しあう戦争を止めることができなかったのか、時の流れの中の矛盾を感じておりました。

しかしあの中で復興を成し遂げた日本人のすばらしさに期待をするとともに、必ずできると信じます。

今、私たちのできることはなんなのか。私たちは本当に生かされているんだ、そのことを震災の中で感じ、「自分が！自分が！」を戒め、他方に苦しんでいる方もいるのだという事を心に思いながらガンバリたいと思います。

**ガンバレ、日本!!**